

第3回世界平和連帯都市市長会議 結果の概要

Outline of 3rd World Conference of Mayors for Peace
through Inter-City Solidarity

3rd General Conference JAPAN-HIROSHIMA, NAGASAKI (August 4-9, 1993)



世界平和連帯都市市長会議事務局
*World Conference of Mayors for Peace
through Inter-city Solidarity*

1 開催趣旨

この会議は、1982年（昭和57年）6月の第2回国連軍縮特別総会において、広島市及び長崎市が提唱した「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する都市により構成される世界平和連帯都市市長会議が4年に1回開催する総会であり、広島・長崎の被爆の実相に触れながら核兵器廃絶への取組を討議するとともに、その他様々な都市の活動を通じて幅広い平和を阻害する要因の解決策を検討し、都市の役割認識と活動の理念を深め、都市の連帯を強めることを目的としたものである。

2 テーマ

(1) 基調テーマ

平和の構築と都市の役割——核兵器廃絶を目指して

(2) テーマ

広島	全体会議Ⅰ	核戦争と都市——ヒロシマ・ナガサキの教訓
	全体会議Ⅱ	「核の時代」と都市連帯
	分科会Ⅰ	国際社会と都市——飢餓・貧困及び難民・人権問題の解決に向けて
	分科会Ⅱ	地球環境と都市——自然と開発の調和を求めて
	シンポジウム	異文化の理解と都市連帯
長崎	シンポジウム	冷戦後の平和構築と都市の役割
	分科会Ⅲ	青少年のための平和教育——次代を担う若者に平和の尊さを
	分科会Ⅳ	20世紀中に核兵器をなくすために
	全体会議Ⅲ	ヒロシマ・ナガサキアピール発表

3 開催期間

1993年8月4日（水）～同月9日（月） 6日間

4 開催地

広島市（8月4日～同月6日）

長崎市（8月7日～同月9日）

5 参加都市

国 外	37 か国	81 都市
国 内	1 か国	41 都市
合 計	38 か国	122 都市

6 会議日程

第1日目（8月4日）

登録・受付

第2日目（8月5日）

平和記念公園視察、慰霊碑参拝、開会式、全体会議、映画鑑賞、被爆者の証言

第3日目（8月6日）

平和記念式典参列、分科会（都市報告）、パネルディスカッション

第4日目（8月7日）

長崎への移動

第5日目（8月8日）

パネルディスカッション、映画鑑賞、被爆者との懇談、分科会（都市報告）

第6日目（8月9日）

原爆資料センター見学、平和記念式典参列、全体会議、閉会式

7 会議のあらまし

- (1) 全体会議及び分科会では、広島会議で35都市、長崎会議で29都市がそれぞれ都市報告を行った。
- (2) 会議では、核兵器廃絶を始めとし、新しい世界秩序構築のための都市の役割について検討し、人類の生存を脅かす人権、難民、飢餓・貧困、環境破壊等について討議し、東西冷戦終結後の新たな世界平和達成における都市連帯の重要性を再確認した。
- (3) これらの討議を踏まえ、ヒロシマ・ナガサキアピールが採択された。

第3回世界平和連帯都市市長会議国外出席都市

地 域	国 名	都 市 名	都市数
アジア	バングラデシュ	チッタゴン、シルヘット	2
	中華人民共和国	重慶	1
	インド	ボンベイ、ラクノウ	2
	インドネシア	シンカン	1
	カザフスタン	アルマトイ、アルマトイ（区）、セミパラチンスク	3
	レバノン	トリポリ	1
	マレーシア	クアラルンプール、クチン（南）	2
	モンゴル	ダルハン	1
	ネパール	ラリトプール、シダルサナガール	2
	フィリピン	モンテンプル	1
	スリランカ	アヌーラダプーラ、パドゥラ、コロombo、ガンパハ（区）、ハンバントータ、クリヤピティア、クルネガラ、ミヌワンゴダ、ネゴンボ、ヌワラエリア、ペリアゴダ、ラトナプラ	12
	シリア	クネイトラ	1
	トルコ	アルティンダグ、アンカラ	2
	ウズベキスタン	タシケント、ヤカサライ（区）	2
	ベトナム	ハノイ	1
オセアニア	オーストラリア	アッシュフィールド、カンタベリー、コバーク、マンリー、ニューキャッスル、ワリング、ウォーロンゴング	7
	マーシャル諸島	マジロ	1
	マイクロネシア連邦	コロニア（ボナベ島）、ソケウス	2
	パプアニューギニア	ポートモレスビー	1
アフリカ	ボツワナ	ハボローネ	1
	ブルンジ	ブジュンブラ	1
	カーボベルデ	ミンデロ	1
	ガンビア	カニフィング	1
ヨーロッパ	ベルギー	アントワープ、ルーヴァン	2
	フランス	オバーニュ、マラコフ、サン・ドニ	3
	ドイツ	アーヘン(K)、ベルリン、ハノーバー	3
	ギリシャ	ベリステリ	1
	イタリア	ポローニャ、コモ、コルシコ、マルザボット	4
	オランダ	ミデルブルク、ロッテルダム	2
	ポーランド	オシベンチム（アウシュビッツ）	1
	ロシア	サンクト・ペテルブルグ、ボルゴグラード	2
	スペイン	ゲルニカルモ	1
	スイス	ジュネーブ	1
	イギリス	ブライトン	1
	ウクライナ	キエフ、オデッサ	2
	北アメリカ	コスタリカ	サンホセ
アメリカ合衆国		パークレー、コンプトン、ジャージーシティ、ロサンゼルス、リンウッド、ミネアポリス、セントポール、サウスパサディナ	8
合 計			37 国 81 都市

第3回世界平和連帯都市市長会議国内出席都市

国名	都道府県名	都市名	都市数
日本	北海道	札幌市	1
	宮城県	仙台市	1
	千葉県	千葉市	1
	東京都	新宿区、大田区、中野区、板橋区、葛飾区、八王子市、三鷹市、町田市	8
	神奈川県	横浜市、川崎市、藤沢市、相模原市	4
	新潟県	小千谷市	1
	山梨県	甲府市	1
	長野県	長野市	1
	岐阜県	各務原市	1
	愛知県	名古屋市	1
	京都府	京都市	1
	大阪府	大阪府、大阪市、堺市、豊中市、枚方市	5
	兵庫県	神戸市	1
	広島県	広島県、広島市、大竹市、東広島市、廿日市市、府中町、大野町	7
	香川県	高松市	1
	福岡県	北九州市、福岡市	2
	長崎県	長崎県、長崎市	2
沖縄県	那覇市、沖縄市	2	
出席都市数			41都市

ヒロシマ・ナガサキアピール

人類史上最初の原子爆弾による惨禍を受けた広島・長崎両市において、われわれ世界38か国122都市の代表は、第3回世界平和連帯都市市長会議に参加し、「平和の構築と都市の役割—核兵器廃絶を目指して」を基調テーマに真剣に討議した。

広島・長崎では、原爆被爆の実相に触れるとともに、市民との交流の中で彼らの被爆体験に基づく核兵器廃絶の訴えに理解を深めた。また、被爆48周年の平和式典に参列し、原爆死没者の冥福を祈るとともに、第二次世界大戦で亡くなった数多くの犠牲者を悼み、戦争のない平和な世界の実現を願った。

4年前の第2回会議以来、世界情勢は大きく変化した。戦後の国際政治を支配してきた東西対立は終結しつつある。しかし、ヒロシマ・ナガサキの悲劇で幕を開いた「核の時代」が今も続いていることは厳然たる事実である。

米国とロシアの核兵器大幅削減の合意や核実験の一時停止など、前進のきざしも見られるが、今なお世界には広島・長崎型原爆の数十万発に相当する核兵器が蓄積されている。しかも、核兵器をめぐるのは、管理体制の不安定化、拡散の懸念、地域紛争における使用の危険性など絶えざる脅威が地球上を覆っている。

同時に、先進工業国と開発途上国との格差拡大が深刻の度を増してきた点も見落としてはならない。飢餓、貧困、人口爆発、難民、環境破壊など、地球的諸問題も悪化の一途をたどっている。また、旧ユーゴスラビアをはじめ世界各地で民族的・宗教的対立の形をとった地域紛争が多発し、人権抑圧、女性と児童に対する組織的暴力、武力衝突による大量の流血、都市の破壊などが現実起こっている。

戦争、とりわけ核戦争によって被害を受けるのは都市であり、そこに住む市民である。われわれ地方自治体には戦争の予防に全力を尽くし、市民生活の安全を守る責務がある。また、都市での民族対立や差別をなくし、環境の悪化を防がねばならない。

われわれは、国を越えて連帯し、相互に理解と交流を深めるため、次のことを確認し、世界恒久平和の実現に向けてたゆみなく行動することを誓うものである。

1. 冷戦後の世界にあっても核兵器の脅威が決して減っていないことを確認し、そのため、市長会議の組織を強化し、核兵器及び生物・化学兵器の廃絶に向け国際世論の結集に努力する。また、世界の非核宣言自治体、国際的都市連合などとの連帯を強める。
2. 宗教・文化などの違いを認めあい、信頼に基づく市民交流を推進する。特に、次代を担う青少年に対し、戦争のもたらす破壊、平和の大切さ、人権の尊重、多民族の共生などを教えるとともに、世界平和に貢献する人材育成の教育と世論形成に積極的に取り組む。
3. 飢餓、貧困、差別、人権抑圧、難民、環境破壊などの諸問題の解決のため、各都市が多面的な支援活動を行う。

さらに、市長会議の総意として、次のことを各国政府及び国際機関に訴える。

1. 人類の滅亡をもたらす核兵器の廃絶を目指して、国際条約を締結すること。
2. 大量破壊兵器の廃棄、通常兵器の削減、近代兵器の輸出については生産の禁止へ向けて、早急に具体的措置をとるとともに、紛争解決の手段として武力を使用せず、平和的解決に努力すること。
3. 包括的軍縮を進め、軍事費の削減によって生じる「平和の配当」を飢餓、貧困、難民、環境破壊等の問題解決に振り向けること。また、先進工業国は援助を質量ともに改善し、途上国の国民が自国で生活を向上できるように協力すること。
4. 核物質の漏出及び放射性廃棄物による自然環境の破壊を地球全体で防ぎ、被曝者の治療を効果的にを行い、あわせて核物質及び放射線被害に関する情報を開示するため、国際的な協力体制をつくること。

われわれは、冷戦後の世界が新しい国際秩序の構築を模索しつつある現在、都市間の国際連帯の重要性を改めて認識するとともに、国連創設50周年及び原爆被爆50周年に当たる1995年に、国連の責任において核兵器及び生物・化学兵器の速やかな廃絶を誓う軍縮会議が開催されるよう強く要望する。

1993年8月9日

第3回世界平和連帯都市市長会議



開会式であいさつを行う平岡敬広島市長



シンポジウム (広島)



開会のあいさつを行う本島等長崎市市長



シンポジウム (長崎)



Secretariat Office

3rd World Conference of Mayors for Peace through
Inter-city Solidarity
1-2 Nakajima-cho, Naka-ku Hiroshima 730 Japan
Telephone: 81-82-241-2352
Fax: 81-82-242-7452

発行

〒730 広島市中区中島町1番2号
第3回世界平和連帯都市市長会議事務局
☎ 082-241-2352
Fax 082-242-7452